

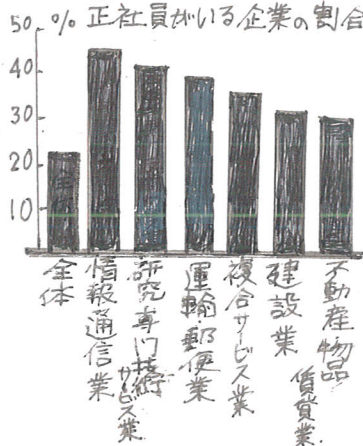
5社に1社は残業時間80時間超過？

いつもお世話になっております。

過労死等防止対策推進法に基づき、「過労死等防止対策白書」が初めて閣議決定されましたので、概要をお知らせいたします。

1ヶ月の残業時間が労災認定の目安となり、「過労死ライン」とされる80時間を超える正社員がいる企業は22.7%にのぼります。また、正社員の4割近くが高いストレスを抱えながら働いている実態も浮かみ、職場環境の改善、働き方の見直し等を訴えています。

1ヶ月の残業が80時間を超える
正社員がいる企業の割合



過労死ラインを超える残業をしている正社員がいる企業の割合を業種別にみると、最も高いのは情報通信で44.4%、研究や専門的な技術サービスを提供する企業が40.6%、運輸・郵便業が38.4%でした。理由として、人員不足や予想外の突発的に発生することが影響していると厚労省はみています。過労死等防止対策推進法について「大まかな内容を知っていた」とする企業は38.1%にとどまり、一方の労働力者調査では正社員の36.9%が高いストレスを抱えていることがわかりました。業種では医療・福祉(41.6%)ド

サービス業(39.8%)の割合が高いようです。

正社員で自身の疲労蓄積度について、「高い」、「非常に高い」とした人は32.9%、睡眠時間は45.6%が「足りていない」、「どちらかといえば足りていない」としました。理由は「残業時間が長い」が最も多く、36.1%があげられました。

今後も長時間の残業について取り上げられる機会が多くなると思われます。世界の中でも労働時間が長いといわれる日本ですが、今後は減っていくのでしょうか。

メールマガジン配信希望の方は下記のメールアドレスまでご連絡くださいませ。